

2022年5月10日

投資家の皆さまへ

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

DWS ロシア・ルーブル債券投信(毎月分配型)/(年2回決算型)の  
マザーファンドの主要投資対象の評価変更ならびに基準価額の下落について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が設定・運用する DWS ロシア・ルーブル債券投信(毎月分配型)/(年2回決算型)(以下「当ファンド」といいます。)のマザーファンドの主要投資対象「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の評価を、2022年5月9日時点の当ファンドの基準価額より変更いたしました旨、ご報告申し上げます。

当ファンドの基準価額の算出には、前営業日の DWS ロシア・ボンド・ファンドの基準価額を使用しますが、ロシアの債券市場について、妥当性のある個別債券の時価評価が出来ないこと等から、DWS ロシア・ボンド・ファンドは2022年2月25日を最後に基準価額の発表を停止しています。このため、2022年3月1日以降、当ファンドの基準価額には2022年2月25日時点の DWS ロシア・ボンド・ファンドの基準価額を使用し、ロシア債券市場の価格変動が反映されない状況が続いていました。

しかし、ロシアの債券市場が平常の状態に戻る目処は立っておらず、DWS ロシア・ボンド・ファンドの基準価額の発表再開時期も未定であること等を受け、当ファンドの監査法人、ならびに DWS ロシア・ボンド・ファンドの管理会社と協議し、DWS ロシア・ボンド・ファンドの評価を当ファンドの2022年5月9日時点の基準価額算出時より、管理会社の実態に即して算出した水準に変更いたしました。

その結果、2022年5月9日時点の当ファンドの基準価額は、毎月分配型で前営業日比-2,866円(-90.4%)、年2回決算型で前営業日比-9,061円(-90.4%)と大幅に下落しました。

ファンド名	5月6日時点 基準価額	5月9日時点 基準価額	下落幅 (前営業日比)
DWS ロシア・ルーブル債券投信 (毎月分配型)	3,169 円	303 円	-2,866 円
DWS ロシア・ルーブル債券投信 (年2回決算型)	10,019 円	958 円	-9,061 円

詳細については下記ご参照下さい。

投資家の皆さまには、ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解、ご了承のほど、宜しくお願い申し上げます。

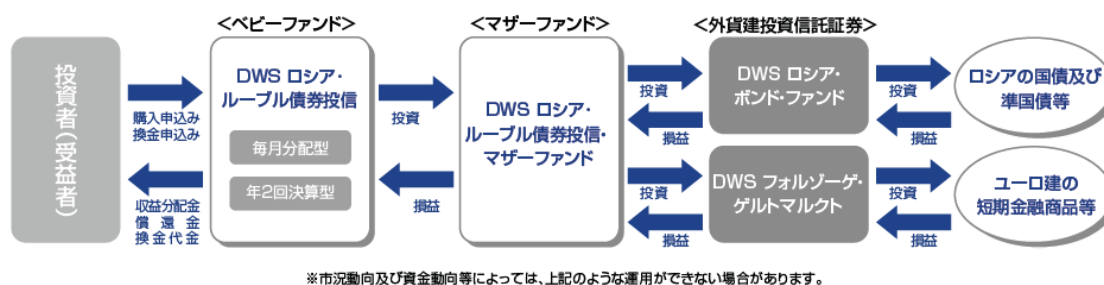
敬具

記

<当ファンドの主な基準価額変動要因について>

当ファンドの基準価額は主に①ロシア債券市場の評価(「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の基準価額の評価)と②ルーブル/円の為替変動により変動します。

(ご参考)当ファンドの仕組み



	① ロシア債券市場の評価 (「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の基準価額の評価)	② ルーブル/円の為替変動
2月28日までの当ファンドの基準価額	<p>前営業日の市場変動を反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 基準価額算出日の前営業日のロシア債券市場の変動(「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の基準価額の変動)が影響します。</li> <li>✓ 債券価格が下落(上昇)すると、基準価額が下落(上昇)する要因になります。</li> </ul>	
3月1日以降 5月6日までの当ファンドの基準価額	<p>反映されていない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2月25日時点のDWS ロシア・ボンド・ファンドの基準価額の使用を継続したことで、翌営業日(2月28日)以降の市場動向は反映されません。</li> </ul>	<p>反映されている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 基準価額算出日当日の三菱UFJ銀行公表の対顧客外国為替相場(仲値)を使用します。</li> </ul>
5月9日以降の当ファンドの基準価額	<p><b>実態に即して算出した水準に変更</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ DWS ロシア・ボンド・ファンドの評価を管理会社が実態に即して算出した水準に変更しました。</li> <li>✓ 具体的には4月22日時点の水準で評価し、ロシア・ルーブル建のロシア国債等は実質ゼロ評価としました。</li> <li>✓ ロシア・ルーブル以外の通貨建の債券は管理会社が4月22日の水準で評価しました。</li> <li>✓ 当面は当該評価を継続する予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ルーブル安/円高(ルーブル高/円安)になると、基準価額が下落(上昇)する要因になります。</li> </ul>

<5月9日以降の当ファンドの基準価額について>

- ① ロシア債券市場の評価(「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の基準価額の評価)について  
管理会社が実態に即して算出した水準に変更しました。

当ファンドのマザーファンドの主な投資対象であるルクセンブルグ籍外国投資信託「DWS ロシア・ボンド・ファンド」は、主にその基準価額発表当日のロシア債券市場の変動の影響を受けますが、2022年2月25日を最後に基準価額の発表を停止しています。

これはロシアに対する制裁の影響から、DWS ロシア・ボンド・ファンドが主要投資対象として  
いるロシアの債券市場では非居住者による取引・決済が困難な状況が継続しており、妥当性  
のある個別債券の時価評価が出来ないこと等から、管理会社が判断したものです。

当ファンドの基準価額の算出には前営業日のDWS ロシア・ボンド・ファンドの基準価額を使用  
します。このため、当ファンドの2022年3月1日以降の基準価額は、DWS ロシア・ボン  
ド・ファンドの2022年2月25日の基準価額を採用していました。つまり、当ファンドの基準  
価額にはロシア債券市場の価格変動が反映されない状況が約2カ月続いていたことになり  
ます。

しかし、ロシアの債券市場が平常の状態に戻る目処は立っておらず、DWS ロシア・ボンド・フ  
ァンドの基準価額の発表再開時期は未定です。この状況を受け、当ファンドの監査法人や、  
DWS ロシア・ボンド・ファンドの管理会社と協議の結果、当ファンドの2022年5月9日  
時点の基準価額算出時よりDWS ロシア・ボンド・ファンドについて、管理会社が実態に即して  
算出した水準に変更いたしました。

具体的には、2022年4月22日時点で評価を行い、ロシア・ルーブル建のロシア国債等は  
実質ゼロ評価としました。また、ロシア・ルーブル以外の通貨建の債券については管理会社  
により2022年4月22日の水準で評価しています。

なお、当面はDWS ロシア・ボンド・ファンドについて当該評価を継続する予定です。

今後、管理会社が評価を更新し、実質ゼロ評価とする銘柄が増加することも想定されます。  
それにより、当ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性があります。

- ② ルーブル/円の為替変動について

当ファンドの基準価額変動要因に反映されております。

当ファンドの基準価額算出時には「DWS ロシア・ボンド・ファンド」を基準価額算出日当日の  
三菱UFJ銀行公表の対顧客外国為替相場(仲値)を用いて円換算(ルーブル/円)するため、  
当ファンドの基準価額はルーブル/円の為替変動の影響を受けます。

「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の円換算については、これまでも通常通り実施しているため、  
「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の基準価額発表再開までは、ルーブル/円の為替変動が当フ  
ァンドの基準価額の主な変動要因となります。

以上